

村山地域では、関係機関が一丸となって「オールむらやま若者定着推進会議」を設立し、若者の定着推進に取り組んでいます。

この情報誌は、推進会議の構成団体の取組みをお知らせするため年4回発行しておりますが、この度は、高校生の方々に、地域の企業の魅力や就業環境の魅力をお伝えし、地元で働くイメージを持っていただくことを目的に作成しました。

保護者の皆様にもぜひご覧いただき、お子様と将来を話す一助となれば幸いです。

高校生のみなさん

自分の将来の暮らしのイメージはありますか。

どこに住み、どんな仕事に就くかは、とても大切な選択です。

地元で働き、暮らすことを、将来の選択肢のひとつとしてぜひ考えてみてください。

山形県の産業と企業の特徴を知ろう



「山形はものづくり産業が盛ん」とは、よく耳にしますが、実際どんな企業があるの、と聞かれても、すぐに名前が出てこない、よく知らない・・・。
そんなことはありませんか？

◆山形県の産業ランキング

	事業所数	従業者数
1位	卸売業・小売業 14,496 (26.0%)	製造業 106,493人 (22.4%)
2位	宿泊業・飲食サービス業 6,793 (12.2%)	卸売業・小売業 93,586人 (19.7%)
3位	建設業 6,235 (11.2%)	医療・福祉 62,958人 (13.2%)

※『平成28年経済センサス活動調査』

山形県は、「製造業」で働く方が多く、地域の経済を支えています。東京など首都圏と比較すれば規模は小さいですが、首都圏にも負けない企業がたくさんあるんです。

でも、普段の生活で目にするものって、ない気がするなあ。
商品名やコマーシャルも知らないし・・・。



「知らない」には理由があるんです！！

山形県の企業は「BtoB」企業が多いことが特徴のひとつです。

BtoBとは“Business to Business”の略で、法人（企業）を相手に取引することを指します。

普段の仕事の相手が企業なので、消費者との直接的な接点や、製品やコマーシャルを見かけることがあまりないため、「知らない」になってしまうことが理由です。

※BtoBとよく比較の対象となるのが、BtoC（Business to Consumer）です。

BtoC企業は私たち消費者向けにサービスや商品を提供しています。

私たちが普段、お店で購入している商品の販売元や、コマーシャルなどを通して知っている企業の多くはBtoC企業ということになります。



キラリと光る！山形県村山地域の企業

村山地域には、独自の優れた技術や製品を持つ企業が数多くあります。

その中から、日本「トップクラス」のシェアをもつ企業の一部を紹介します。

今回紹介する企業のほかにも、村山地域のたくさんの魅力的な企業について、山形大学の大学生が訪問して取材した内容をホームページで紹介していますので、「**キラリと光る山形**」で検索して、ぜひご覧ください。



世界トップシェアの工作機械 《ミクロン精密（株）》（山形市）

社名の“精密”の文字から、細かい部品を製造している会社と勘違いされることがありますが、**ミクロン精密は「精密な部品をつくるための工作機械を製造している」メーカーです。**機械は自動車や建設機械、家電、医療機器などを製造する世界中のお客様から愛用されています。

主力製品は円筒形部品の外周面を研削する「心なし（センターレス）研削盤」と部品の内面を研削する「内面（インターナル）研削盤」で、丸いものをさらに真円に迫る精度まで丸く、丸く加工する機械です。

ミクロン精密の機械で加工された高精度な部品は、さまざまな製品に組み込まれ、製品の機能を最大限に引き出し、また、省エネ家電や風力発電設備にも用いられるなど環境負荷低減にも寄与しています。

工作機械の業界は海外も含めて数多くの企業がひしめき合って競争していますが、ミクロン精密は**心なし研削盤というニッチ分野において世界一のシェア**を持っています。



心なし研削盤

世界に名を知らしめた「極細の糸」 《佐藤繊維（株）》（寒河江市）



モヘア糸

アメリカのオバマ前大統領就任式でミシェル夫人が着ていたカーディガン。このカーディガンに使われていた極細のモヘア糸を作り出したのが、佐藤繊維です。

フォーマルな場でカーディガンが着用されることはきわめて異例でしたが、この極細のモヘア糸で作られた上品で繊細なカーディガンが、その歴史を変えました。同時に佐藤繊維の名を世界中に広めたのです。

佐藤繊維が生み出したもっとも有名な糸が極細の「モヘア糸」です。これは人間の髪の毛の約1/3の細さで、1gの原料を50m近くまで伸ばした糸です。この糸を使うことで、薄くて軽いのにふわっと暖かい布をつくることができます。

しかし、モヘアはあまり強度がなく、このような糸は実現不可能と言われていました。研究を重ね、試行錯誤の末に誕生したのがこの糸であり、当時限界とされた細さの1/2を実現しました。この糸は佐藤繊維にしか作ることができません。世界の有名ブランドでもこの糸が使われており、世界的に高く評価されています。

その他の キラリと光る！村山地域の企業 の例

企業名	業務概要	概要
(株)トプコン山形 (山形市)	眼科用医療機器、眼鏡店用検査機器、測量機器の製造 等	眼科用医療機器・測量機器の分野では、 複数の製品で世界トップシェアを誇る トプコングループのメイン生産拠点です。
(株)シェルター (山形市)	木質構造部材の研究・設計・製造・販売 等	日本初の接合金物工法と木質感溢れる耐火部材を開発、 最大の木造コンサートホールとしてギネス世界記録になった「シェルターなんようホール」 にも採用されました。
ナプティスコオートモーティブ (株)山形工場 (村山市)	商用車用ブレーキ製品、クラッチコントロール製品等の製造 等	トラックやバスなど商用車で使われている ブレーキ部品の「エアドライバー」、「ウェッジチャンバー」 は国内トップシェアを誇ります。
(株)ニクニアサヒ (朝日町)	ポンプ製品、関連産業機器、光学機器等の製造	ニクニアサヒは、 世界中に展開する産業用ポンプの一大製造拠点 であり、中でも 渦流タービンポンプ は国内トップシェアです。

保護者の皆様へ

卒業後はどこで働く？どこに住む？

親子で考えてみてください。就職のこと

将来を考えると重要になってくるのが、「どういった仕事をするか」「どこで暮らすか」…。

具体的には、大学進学後…とお考えの方も、時間のある今だからこそ、親子で話し合ってみませんか？

両親や親族に就職の相談をしたことがある方の割合

78.0%

※2022年卒マイナビ大学生Uターン・地元就職に関する調査

やまがたのよいところ(山形と東京の比較)

●東京より通勤時間が短くて帰宅時間が早い

通勤時間(片道)

山形県 19.2分 東京都 44.5分

出典：平成30年住宅・土地統計調査(総務省)

仕事からの帰宅時間(平日)

山形県 18時28分 東京都 19時13分

出典：平成28年社会生活基本調査(総務省)

●ゆったり広々と暮らせる住まい

持ち家比率

山形県 74.9% 東京都 45.0%

全国3位 出典：平成30年住宅・土地統計調査(総務省)

持ち家住宅の延べ面積

山形県 160.89㎡ 東京都 93.28㎡

全国3位 出典：平成30年住宅・土地統計調査(総務省)

●安心して仕事と家庭を両立できる

出産・育児のために離職した女性の割合

山形県 4.7% 東京都 5.9%

全国3位 出典：平成29年就業構造基本調査(総務省)

育児中の女性の有業率

山形県 79.0% 東京都 61.4%

全国4位 出典：平成29年就業構造基本調査(総務省)

1,000人当たりの不登校児童生徒数

山形県 14.3% 東京都 19.1%

全国3位 出典：令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査(文部科学省)

待機児童数

山形県 0人 東京都 969人

2年連続 出典：保育所等利用待機児童数調査(厚生労働省)

村山地域で就職した若者の声

東北電化工業(株) 山形支店【山形市】 工務部 ^{かの}鹿野 ^{いくえ}郁絵 さん(東海大学体育学部卒)



東北電化工業(株)は、総合電気設備工事業を通して、社会インフラの整備に貢献されている企業です。

Q 山形での就職を決めた理由は？

A もともと就職の際に「これを絶対にやりたい!」というものがなく、これからについて考える中で、**進学を機に離れた“地元の良さ”を思い出しました。自分の中で「一度離れた山形市の空気感が好きだなあ」と再認識したことで、自分がこれから働いていくのは山形が合っていると思い、就職を地元決めました。**

Q この会社に就職を決めた理由は？

A もともと電気に関わりがあったというわけではないのですが、就職活動中に参加した企業説明会で**“会社の雰囲気良かったから”**というのが一番の理由です。“資格がない”というのが就職において不安だったのですが、東北電化工業では入社後の社内教育が整っている印象を受けたため、入社を希望しました。

Q 山形で暮らして良いと思うことは？

A 第一に、会社の方や近所の方といった、**自分の身の回りの人が優しい**ということです。また、**今のコロナ禍で過ごす中で、家族が近くにいる**ということは**「やっぱり安心するなあ」と感じました。ご飯やラーメンが美味しいことや、良い温泉がたくさんあるところが魅力**ですね。

サンフウ精密(株)【山形市】 技術部 ^{あいた}会田 ^{かずとし}和俊 さん(帝京大学理工学部卒)

サンフウ(株)は、3Dモデリングソフトや、3Dプリンターなど様々な機器を使って、イメージを3Dモデリングに、そして実物として作成しています。

Q この会社に就職を決めたきっかけは？

A よくあるモノづくりの企業では、自分の企業と取引先の間でしか製品の出来を確認できないと思います。ですがサンフウ精密では、**CAD/CAM(コンピュータを使って製品の設計・製造を行うためのシステム)を使っていろいろなものを作っていき中で、「こんなものを作ったよ」という情報の共有の仕方がとても面白いな**と思いました。会社説明会が動画が多く分かりやすかったり、自由に作った物を動画でまとめたり、いろいろな情報発信の方法を使って自分たちの作ったものを広めているので、自分のモチベーションにもつながるし、面白そうだなと思って入社を決めました。

Q もともと山形に帰ってくるつもりではいたのですか？

A いずれ帰ってくるつもりではいました。家庭の事情もあり、家族の手助けをしたいなと思っていて、**一人暮らしで近くに住むというのもよかったんですが、今は実家暮らし最高!**という感じです。

Q 山形で暮らして良いと思うことは？

A **温泉が近くにあるのはいいな**と思いますね。今は少し忙しいですが、余力のあるときはジャバのプールに行ったり泳いだり、温泉に行ったりリフレッシュしたりします。**温泉に入ると次の日シュッとするのでいいですね。一番気に入っているのは、中山町のひまわり温泉ゆ・ら・ら**です。



村山地域で就職した若者の声(続き)

アイジー工業(株)【東根市】 研究開発部 おくやま 奥山 ちひろ 千尋 さん(日本大学工学部卒)

アイジー工業(株)は、建築用断熱外壁材及び金属屋根材の研究開発、製造、販売を行っています。

Q この会社に就職を決めた理由は?

A 山形に帰ってきたかったからです。それで調べたときに、「日本一の会社があるじゃん」と。日本一なのってサクランボだけじゃないんだって。

東根市出身なので、アイジー工業の大きな看板を見たことがあって、「あの会社は何だろうな」と子どもの頃に思っていたこともあって受けましたね。

Q 山形に帰ってきたかった理由は?

A 家族や友人がいるというのが大きかったですね。他の地域で働くのもいいんですけど、何かあったときにすぐ助けてもらえるので。あと、ラクしたかったというのが大きかったですね。実家にいればお母さんのご飯が出てくるというのは本当にありがたいです!

Q 山形県へ帰ってきていかがですか?

A 山形はご飯がおいしいですね。福島もおいしいんですけど、山形のほうが食べ慣れているというのがあって。ラーメンも好きです。私はめちゃくちゃ辛いものが好きなので、山形駅前にある「らーめんぬーぼう」の「赤爆中華」をよく食べます。



企業での就職・暮らしについては、大学生目線から見た企業の魅力を、**Instagram**で発信しています。「**#よしよしむらやま**」で検索!!



(株)山形銀行寿町支店【山形市】 営業課 すすき 鈴木 ゆうか 悠風 さん(津田塾大学学芸学部卒)

(株)山形銀行は、山形市に本店を構え、山形県を主要地盤とする地方銀行です。

Q 現在担当しているお仕事の内容

A 相談窓口で主に資産運用相談業務を担当しています。住所・名義変更等の諸変更手続きのほか、ご来店いただいたお客さまに、資産形成・運用に関する情報提供や、ニーズに合った金融商品の提案や販売などを行っています。窓口でお客さまとお話する機会が多いので、喜んでくれるのを見たり、直接「ありがとね」と感謝の言葉をいただいたりしたときに強くやりがいを感じます。

Q 山形での就職を決めた理由は?

A きっかけは、大学のゼミで山形の方言を研究したときに、山形の方言が書いてある観光向けのパンフレットなどを見る機会が多く、「山形っていろんな魅力があるんだな」と感じたことです。県外就職も悩んだのですが、最後は「山形の力になりたい」と思って帰ってきました。

Q 山形銀行に就職を決めた理由は?

A 山形銀行は、銀行の発展だけでなく山形県の発展を使命としており、地域経済の活性化や社会貢献を大切にしているということを就職活動中に知り、この銀行で働くということは、「山形県の役に立つということにつながる」と感じたので就職を決めました。



山形県村山総合支庁【山形市】 総務企画部総務課防災安全室 あきば 秋場 たける 尊 さん(千葉大学教育学部卒)

山形県村山総合支庁は、村山地域を管轄する県の総合出先機関です。

Q 現在担当しているお仕事の内容

A 災害発生時の情報収集が大きな仕事の一つです。管内の市町から災害の被害状況をいち早く集めて県庁に報告します。この3年間で、庄内沖の地震や新型コロナなどの災害等があって、かなり忙しかったですが、自分が報告した情報が新聞などに載るということにやりがいを感じています。その他、危険物の保安業務として高圧ガスの販売・製造の許認可などを担当しています。

Q 山形に戻ろうと思ったきっかけは?

A 県外の大学に進学してから見聞が広まってきて、「山形は過ごしやすいし、時間の流れが忙しくないなあ」と思うようになったのが一つです。それと、大学で九州から北海道まで友人がいたのですが、山形といえばさくらんぼくらいしか知られてなくて、「自分に何かできることはないかなあ」と思うようになりました。さらには、「働いてがんばろうと思えるのは、山形だけかな」と思うようになりました。

Q 県職員になったきっかけは?

A 大学3年生までは教師になろうと思っていましたが、教育実習を経験したあたりから考えが変わってきました。教師のなり手不足の大きな要因の一つに過酷な労働環境があると思い、その環境を変える行政の仕事に興味が出てきました。

